



第2回 研究発表会

関東地方の地質

関東支部では、このたび関東地方およびその周辺地域の地質に関する研究発表会を開催することになりました。第2回目の今回は27件の個人講演による最新の地質研究が紹介されます。皆様、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

口頭発表 12:30 ~ 16:50 3階 第一会議室

支部長講演：メガシティ東京の地質的課題

中山 俊雄(関東支部長代理;東京都土木技術センター)

2.5Ma丹沢火山の証拠ー関東の含ざくる石角閃石テフラの検討から
北西太平洋高緯度域における上部漸新世ー下部中新統の放散虫化石層序
反射法地震探査により解明された上総ー下総層群の地下構造
珪藻分析による奥東京湾海進・海退過程の復元
荒川低地・妻沼低地における沖積層の層序と古環境の変遷
群馬県八塩・埼玉県渡瀬地区に分布する浅層塩水(地下水)の地球化学的特性について

高木 秀雄 (早稲田大) ほか
澤田 大毅 (筑波大) ほか
浅尾 一己 (千葉県消防地震防災課)
石川 智 (九州大) ほか
石原 武志 (東京大) ほか
安原 正也 (産総研) ほか

ポスター発表 コアタイム14:40 ~ 16:00 3階 第二会議室

関東山地北東部の地帯構造に平行および直交する断層群
吾国山変成岩類源岩の層相
関東山地東部、名栗地域の地質
石灰岩から知ることのできる沈み込む海山のテクトニクス：喜界海山と小笠原海台を例に

金山 健太郎 (新潟大)
甘利 祐一 (筑波大) ほか
加藤 潔 (駒沢大)
中澤 努 (産総研) ほか
成毛 志乃 ((株)トーコー地質) ほか
及川 敦美 (茨城大) ほか
田村 糸子 (首都大) ほか
久津間 文隆 (川越初雁高) ほか
正田 浩司 (所沢高) ほか
中里 裕臣 (農研機構) ほか
大石 雅之 (首都大)

棚倉断層周辺地域の中新世における火山活動と堆積環境の復元
茨城県大子町北西部に分布する新第三系の堆積環境の復元
南房総に分布する千倉層群の鮮新世テフラ層序とその対比
関東平野西縁、加治丘陵に分布する仏子層下部の層相と堆積環境
仏子層中に挟在する笹井ガラス質テフラ層 (SSI) の記載と広域対比
下総層群清川層Ky4テフラの広域対比
斑晶鉱物、特に斜長石斑晶の屈折率に基づく北関東テフラの同定
海進ラグの再堆積で形成された混合流デューン：茨城県南部中部更新統上岩橋層を例に

平社 定夫 (岩槻高)
金子 稔 (太田女子高) ほか
菊山 浩喜 (川崎地質(株)) ほか
本郷 美佐緒 (産総研)
納谷 友規 (産総研)
山口 正秋 (産総研)
細矢 卓志 (中央開発(株)) ほか
金戸 俊道 (東京電力(株)) ほか
高尾 誠 (東京電力(株)) ほか
松原 典孝 (茨城大) ほか

有孔虫化石から見た下総層群藪層の生層序と古環境
ボーリングコアを用いた帯磁率、色の測定による地質区分・風化度判定
埼玉県菖蒲町における350mボーリングコアの花粉末化石群集
埼玉県菖蒲町で掘削された350mコアの珪藻化石群集
関東平野中央部、加須低地の微地形発達
東京の古地理からみた地質防災への提案
2007年新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所敷地内の地表亀裂
柏崎刈羽原子力発電所敷地内の新第三系中の断層ー2007年新潟県中越沖地震による影響ー

自然を生かした地域活性化へのチャレンジー茨城大学学生地域参画プロジェクトの成果ー

関東支部総会 16:50~17:20

プログラムの詳細は、日本地質学会関東支部ホームページ <http://kanto.geosociety.jp/> をご覧ください。

入場無料 どなたでも参加できます

日時：2008年6月8日(日) 12:30~17:20

会場：早稲田大学 国際会議場 3階 第一会議室 及び 第二会議室

JR山手線高田馬場駅から早大正門行きバス終点下車徒歩3分
東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩5分

お問い合わせは、Tel:029-861-3956, E-mail: t-nakazawa@aist.go.jp 中澤 努(支部幹事;産総研)まで